

事務事業名	全国街路事業促進協議会参画事業				担当	建設部 建設課 管理係		
政策名	A	暮らしやすさが実感できるまちづくり			増補版施策名			
施策名	4	道路ネットワークの整備			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠						<input type="checkbox"/> 単年度繰越（開始年度 昭和39年度～）		
予算科目	1.一般会計	8.土木費	2道路橋りょう	1道路橋りょう総務費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	都市計画道路の速やかな整備、充実を積極的に推進することを目的に、都道府県及び区市町村等を会員（H29年6月現在：会員数986団体）とした団体である。活動内容は、全国街路事業コンクールの実施、研修会、講習会、情報交換会の実施及び国に対する予算要望等である。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 29年度実績 通常総会への参加及び、街路事業の促進並びにその円滑な運営を資するため、国への要望活動に参加。 30年度計画 平成29年度と同様	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
	ア	国への予算要望活動	回	1	1	1	1	1
	イ	会議、研修会、講習会	回	1	1	1	1	1
	ウ エ オ							
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 都市計画道路	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
	ア	都市計画道路路線数	路線	47	47	47	47	47
	イ	都市計画道路総延長	m	114,359	114,359	114,359	114,359	114,359
	ウ エ オ							
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 都市計画道路の整備促進を図る	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
	ア	都市計画道路整備済延長	m	97,925	98,008	98,271	99,505	99,565
	イ	都市計画道路整備率	%	85.6	85.7	85.9	87.0	87.1
	ウ エ オ							
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） 快適で安全な通行が出来る道路網の整備	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
	ア	道路の整備状況が良いと感じている市民の割合	%	58.7	65.3	61.3	63.9	62.3
	イ ウ エ オ							

(2) 総事業費の推移		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	10	10	10	10	
	事業費計(A)	千円	10	10	10	10	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	10	10	10	10
		人件費計(B)	千円	42	42	42	42
トータルコスト(A)+(B)		千円	52	52	52	52	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	各市町と共同で都市計画道路の整備促進を図るために参画した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	本市の都市計画道路の多くは、土地区画整理事業の手法を用いて整備してきたが、残る未整備路線は、土地区画整理事業の計画はなく建物も密集していることから、建物の移転先や買取残地の問題など、単独買取での整備は困難が予想される。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	都市計画道路の早期整備が望まれている。